

## 「第27回党大会成功をめざす党勢拡大大運動」の成功を 大平議員・「つどい」100か所、党員拡大50人を目標に



中国ブロックの各地で、「大運動」成功めざす意気高い取り組みが進んでいます。

6中総に参加した大平喜信衆議院議員は、「国会議員が世代的継承を始め党勢拡大の先頭に立つ」「そのためつどい100か所、党員拡大50人を自らの目標にする」の決意を表明しました。

そしてこの間、鳥取県南部町、島根県雲南市、安来市、広島県福山市などで「つどい」や「拡大大運動」に取り組んでいます。（写真は、鳥取県南部町での「つどい」）

## 9月の中間選挙・5人全員当選。府中町は新人二人で倍増

9月に行われた中国ブロック内の中間選挙で、日本共産党は全員当選を勝ち取りました。

岡山県の高梁市では新旧交代を含めて現有2議席を確保しました。また吉備中央町では現職が議席を確保しました。

広島県府中町では、ベテラン議員(1議席)の引退を受けて、新人二人が立候補して果敢に挑戦し、2議席を確保しました。

中間選挙(議員選挙)は10月には、広島県世羅町、山口県光市、周防大島町、鳥取県南部町で選挙が戦われます。

各選挙には大平議員が応援に駆けつけています。（写真は、選挙結果の報告をする大平議員と新町議の二見議員(左)と林議員(右)）



## 政府交渉・国の出先機関交渉の取り組みを強めよう

参議院選挙後、各県の政府交渉と出先機関交渉が精力的に取り組まれています。

8月には岩国市議団が住民団体と共同して、防衛局・国土整備局に申し入れ、9月に入って、山口県委員会、鳥取県委員会がそれぞれの課題で政府交渉(レクも含む)。さらに島根県委員会が三江線廃止中止を求めてJR米子支社に申し入れを行っています。

10月から11月にかけては、出先機関交渉、政府交渉が予定されています。